

Kyutech Journal

明専會報

2016

NOV・DEC

≡ 885 ≡

- ・退職記念：鹿毛浩之先生
- ・研究室・技術紹介 3件
- ・基盤強化（同窓の絆、部活動OB会だより）他



「高千穂峡」 撮影：機42 山本 忠士



「明専会100周年募金で母校のブランドカアップに貢献 多数のご協力を！」

<http://meisenkai.or.jp/>

表紙解説

題名：「高千穂峡」

機42 山本 忠士

写真撮影を趣味として始めて28年、感動を与える写真を求めて楽しみながら撮影しています。

明専会報の表紙写真として九州の「高千穂峡」を選びました。

若いころは観光旅行にさほど興味がなかったのですが、写真を始めてからは被写体を求めて時々旅行を楽しむようになりました。

2015年の秋に九州旅行のツアーに参加して、その中で宮崎県の高千穂峡に行きました。何年前かに「古事記」を読んで、高千穂峡が神々に縁の深い地であることを知っていつか写真を撮りたいと思っていました。

事前のイメージでは、紅葉している高千穂峡の風景を思い描いていましたが、残念ながら紅葉は見られませんでした。今一度この写真をじっくり眺めてみると、木々の深い緑が水面に映り込み、黒光りしている岩肌で滝の白さが際立ち、鮮やかな紅葉のないほうが、神秘性が高まったように思います。

明専会報では、表紙用写真、フリートークやエッセイなどを募集しています。作品の発表の場として、会員へのメッセージとして、是非ご活用ください。